

プログラム

時間	プログラム内容
13:00	開場・受付
13:30	開会
13:30-13:35	開会の辞 …………… 林 玲子 国立社会保障・人口問題研究所 所長
13:35-13:45	趣旨説明① …………… 是川 夕 国立社会保障・人口問題研究所 所長
13:45-13:55	趣旨説明② …………… 齋藤 聖子 JICA緒方貞子平和開発研究所 主任研究員
14:00-15:00	講演 …………… クリスチャン・ヨプケ スイス・ベルン大学名誉教授
15:00-15:15	休憩
15:15-16:15	講演(オンライン) …………… ヘイン・デ・ハース オランダ・アムステルダム大学教授
16:15-16:30	休憩
16:30-17:55	パネルディスカッションおよび質疑応答 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> パネリスト </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ クリスチャン・ヨプケ(スイス・ベルン大学名誉教授) ■ ヘイン・デ・ハース(オランダ・アムステルダム大学教授) ■ グラシア・リュー・ファーラー(早稲田大学教授) ■ 峯 陽一(JICA緒方貞子平和開発研究所 研究所長) モデレーター：是川 夕(国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長)
17:55-18:00	閉会の辞 …………… 峯 陽一 JICA緒方貞子平和開発研究所 研究所長
18:00	閉会

※プログラムは変更される場合があります。

第30回 厚生政策セミナー / 開発協力セミナー

これからの 移民政策を どう描くか

分断の時代の新しいビジョンを求めて

参加費
無料

ハイブリッド開催
(会場での受講 / オンライン)

2025年
6月12日(木)

13:30～18:00 (開場13:00)

JICA市ヶ谷ビル国際会議場

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 (JICA市ヶ谷ビル内)



日英同時通訳



手話通訳



託児サービス



本セミナーの
詳細はこちら

お問い合わせ

国立社会保障・人口問題研究所
第30回厚生政策セミナー事務局
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル 6F

JICA緒方貞子平和開発研究所
開発協力セミナー事務局 担当:中西
〒162-8433 東京都新宿区市ヶ谷本村町10-5

TEL : 03-3595-2984 (平日 10:00～17:00)
E-mail : ipss30seminar@ipss.go.jp

E-mail: ditas-rsunit@jica.go.jp

本セミナーについて

JICA 緒方貞子平和開発研究所と国立社会保障・人口問題研究所は、共催セミナー「これからの移民政策をどう描くか—分断の時代の新しいヴィジョンを求めて—」を開催いたします。世界は今、深刻な「分断の時代」を迎えています。移民・難民の受け入れを巡る対立は世界各地で激化の一途をたどり、排外主義やポピュリズムの台頭は国際社会の安定を脅かしています。しかし、日本を含む先進国は急速な少子高齢化と労働力不足に直面しており、経済成長と社会保障制度の維持のために外国人労働者の受け入れが不可欠な状況となっています。

また、国際協力や開発の分野においても国際移住の新しい在り方が注目されています。世界銀行が2023年に刊行した「世界開発報告」(WDR)では、国際移住がとりあげられ、送出国、受入国だけでなく、移住者自身の人間開発にもつながる新たな国際移住の可能性として Global Skills Partnership といった概念が提示されています。

「移民」は、もはや遠い世界の出来事ではありません。コンビニエンスストアの店員、介護施設の職員、建設現場の作業員、企業のエンジニアなど、様々な場面で外国人労働者の姿を目にするようになりました。彼ら彼女らは、私たちの日常生活、地域社会、経済活動を支える重要な一員となっています。事実、日本で働く外国人労働者の数は増加の一途を辿っています。送出し国となることが多い、新興・途上国においても自国の経済発展や国民の well-being を考える上で国際移住の役割を無視することはできません。

そこで本セミナーでは、移民研究の世界的権威である、クリスチャン・ヨプケ氏(スイス・ベルン大学名誉教授)とヘイン・デ・ハース氏(オランダ・アムステルダム大学教授)にご登壇いただき、複雑化する移民問題を多角的に捉え、これからの日本と世界の未来を構想します。世界の移民政策はどこへ向かっているのか、国際移住と開発の関係はどのように捉えられるのか。この潮流はどのように生み出され、どのような性格を持つのか。現状を変える手立てはあるのか——。こうした切迫した問いに向き合うなかで、分断の時代の新しいヴィジョンを模索します。

セミナーでは、まず趣旨説明として、世界における国際移動の潮流と日本の位置付けについて、データに基づいた現況を説明します。続いてヨプケ氏とデ・ハース氏から、それぞれの視点で現在の移民政策を貫く論理と見通し、あるべき未来図について報告いただきます。パネルディスカッションでは、日本の移民社会化についての研究を牽引するグラシア・リュー・ファーラー氏(早稲田大学教授)、及び人間の安全保障の観点から移民研究に取り組む峯陽一氏(JICA 緒方貞子平和開発研究所)も加わり、四者による多角的な議論を通じて、新たな時代の羅針盤を見出すことを目指します。

本セミナーは、参加者一人ひとりが日本の未来を共に考え、新たな「共生」の形を模索する場となります。専門知識の有無を問わず、幅広い分野からの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講演者紹介

クリスチャン・ヨプケ Christian Joppke ————— ベルン大学名誉教授



ベルン大学名誉教授(社会学)、ハンブルク社会研究所上級研究員。カリフォルニア大学パークレー校にて博士号取得(1989年)。南カリフォルニア大学、欧州大学院、ブリティッシュコロンビア大学、国際大学ブレーメン、パリ・アメリカン大学で教鞭を執る。オーフス大学、中央ヨーロッパ大学、パリ政治学院にて名誉教授、客員教授を歴任。専門は比較政治社会学。社会運動(西欧・東欧)、移民、市民権、多文化主義、宗教、ナショナリズム、近年ではポピュリズム、ネオリベラリズムについて、幅広く影響力のある論考を発表。近著に *Neoliberal Nationalism: Immigration and the Rise of the Populist Right* (Cambridge University Press, 2021年)、*Political Neoliberalism: Order and Rupture* (Oxford University Press, 2025年)がある。

ヘイン・デ・ハース Hein de Haas ————— アムステルダム大学教授



アムステルダム大学教授(社会学)、マーストリヒト大学客員教授(移民・開発)。地理学者・社会学者であり、世界的に著名な移民研究者。2006年から2015年まで、オックスフォード大学国際移民研究所(IMI)の創設メンバーおよび共同ディレクターを務めた。移民研究分野の泰斗であり、移民と開発に関する革新的な理論「意欲—潜在能力モデル」の提唱者。その研究では、グローバルな変化と発展の本質的な要素として移民を捉える、新たな長期的視点を提示してきた。移民研究分野の定番の教科書である *The Age of Migration: International Population Movements in the Modern World* の筆頭著者。新著 *How Migration Really Works* は2023年11月にPenguin社より刊行され、ドイツ語、オランダ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、ギリシャ語、韓国語に翻訳出版されている。

グラシア・リュー・ファーラー Gracia Liu-Farrer ————— 早稲田大学教授



早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授(社会学)、同大学アジア国際移動研究所所長。研究テーマは日本への移民、東アジアおよびアジア・ヨーロッパ間の国境を越える労働者・学生のモビリティ。アジアの経験を移民・モビリティ理論に導入することを目指している。近著に *Handbook of Asian Migrations* (Brenda Yeohとの共著、Routledge, 2018年)、*Immigrant Japan: Mobility and Belonging in an Ethno-nationalist Society* (Cornell University Press, 2020年)、*Tangled Mobilities: Places, Affects, and Personhood across Social Spheres in Asian Migration* (Asuncion Fresnoza-Flotとの共著、Berghahn Books, 2022年)、*The Question of Skill in Cross-border Labour Mobilities* (Brenda Yeoh, Michele Baasとの共著、Taylor & Francis, 2023年)。中国人学生、ネパール人レストラン労働者からシリア難民まで、移民に関する学術論文や書籍を多数発表。

峯 陽一 Yoichi Mine ————— JICA緒方貞子平和開発研究所 研究所長



JICA 緒方貞子平和開発研究所 研究所長。立命館大学国際関係研究科客員教授、ステレンボッシュ大学客員教授。専門分野は人間の安全保障、開発経済学、アフリカ地域研究。人間の安全保障の理論と実践について多面的に研究している。『開発協力のオーラル・ヒストリー』(東京大学出版会)、『2100年の世界地図—アフリアの時代』(岩波新書)、『現代アフリカと開発経済学—市場 経済の荒波のなかで』(日本評論社)など著書、編著、訳書多数。

趣旨説明・モデレーター

是川 夕 Yu Korekawa
国立社会保障・人口問題研究所
国際関係部 部長

趣旨説明

齋藤 聖子 Kiyoko Saito
JICA緒方貞子平和開発研究所
主任研究員